

2023年度 アppeール会本部役員会議事録

1. 開催日時 2023年4月28日(金) 14時～17時

2. 開催場所 東洋食品工業短期大学 会議室

3. 出席者

会長・四国支部長	西山 正一
副会長	富樫 健
同	鈴木 稔
同	松原 清俊
北海道支部長	豊田 勝己
関東支部長	渡辺 昇
信越支部長	中村 正和
静岡支部長	石田 雅則
名古屋支部長	岡本 雅志
近畿支部長	長塚 洋二郎
中国支部長	竹内 毅
九州支部長	原 裕久
会計幹事・事務局長	斎藤 至康
会計監査	中野 栄介
相談役	野上 健次 (15名)

欠席者

東北支部長	三枝 通晃
会計監査	本間 欽吾 (2名)

定刻 西山会長より

本日 コロナ感染も落ち着き 3年ぶりに学校にて、対面による役員会を開催するにあたり、役員 17名のうち出席者 15名であり、2名の欠席役員からは、委任状が提出されておりますので予定通り開催致します。

開催に先立ち、3年間でアppeール会役員の一部および学校に於いては、飯田学長、甲斐学科長、赤峰事務室長の3名が就任されておりますので、それぞれが自己紹介を行いました。

—飯田学長から短大の近況報告について—

3年間コロナ禍が続いておりましたが、大学においてもやっと安心して活動が出来る状態になって来たようであります。

一方大学を取り巻く環境は年々非常に厳しさを増してきているように感じています。

人口の減少であったり、職業への志向の変化がでてきており、各種の大学の中に於いて、生き残りをかけた活動が必要であり、本学においても特徴を理解していただき、食品関係の企業様からは募集が年々増えており、就職率が非常に良く、ほぼ100%である事には変わりはないが、入学者数が気になる状況であります。

学生数の確保が本学にとっては大きな課題となっており、今後も継続して解決をしていかなければならないと感じております。

次に卒業生の進路状況についての説明をいたします。

今年3月卒業の61期生は27名で、企業派遣を除く一般就職者は19名、企業派遣が7名、進学生が1名となっており、全員が希望通りの結果となりました。

コロナの影響も薄れてきて、人員確保の活動の活発化、食品業界では値上げによる業績の改善等が追い風となり、就職活動に影響したものだと考えております。

過去5年間の卒業生の進路について、食品メーカーが70%、飲料メーカーが10%、容器メーカー、医薬品メーカーが続いております。

新入生の状況については、昨年が34名、今年が31名で定員が35名という事で定員割れの状態であります。

志願者数については2018年、2019年度は50名程でありましたが、その後コロナの影響か、学生の考えの変化なのか、志願者数は減少傾向となっております。

対策としては高校への出前授業等を行い、志願者の掘り起こしをやり入学者数の確保に努めております。

次に研究活動の状況については、2023年度の件数は合計23件で、ほぼ前年度と同じであります。

教育設備の投資案件については、ペットボトルキャップの軽量化に追従すべく設備の更新を行いました。

実習関係については、体験を充実させる為にバキュームシーマーの1台追加購入をしました。

今年度については、今後紙容器の使用が増えるのではないかと考え、成型から充填への一連の流れを学べる事が出来る、半自動紙パック成形充填設備

の導入を予定しています。

人事面については、2022年度に事務室に若手職員を2名採用致しました。新校舎の建設プロジェクトについては、地面の地質調査に課題があり兵庫県からの建築許可が下りないので、来年夏に竣工予定でありましたが、遅れているのが現状であります。

卒業記念パーティーについては、2023年度は学位授与式の後行われましたが、その前の58、59、60期生の学生につきましては、実施が出来なかった為に、各年度ごとに本年7月・8月に3回に分けて、学校が費用を負担して皆様に出席していただき、学生生活の思い出の一コマとなるよう、案内を出す予定をしております。

新型コロナウイルス関連に対する学生の講義や実習については、連休明けからは政府の指針に沿った対応を行っていき、教職員と学生との相互のコミュニケーションが、より良い状況になるよう期待をしております。

オープンキャンパス、社会人の育成講習会、外国人の短期研修等については、好ましい状況を取り戻すために計画をしております。

アップール会につきましては、本部、支部の活動に合わせて皆様との連携、を深める活動を再開したいと思っております。

アップール会の組織強化、活動の活性化にご協力出来る事がありましたら、声をかけていただきたく思っております。

ー西山会長よりー

只今から議題に移らせていただきます。

4. 議題

第1号議案 2022年度収支決算報告の件

齋藤会計幹事より別添資料1に基づき報告、併せて中野会計監査より監査報告があり異議なく承認されました。

第2号議案 2022年度会費納入状況報告の件

齋藤会計幹事より別添資料2に基づき報告、原案通り承認されました。

第3号議案 2022年度および2023年度の支部活動報告の件

各支部長等より2022年度の支部活動および2023年度の活動計画について報告がありました。

「北海道支部」

3年間コロナ禍が続いた影響で、支部総会が開催出来ませんでした。

今年は助成金も3年分が繰り越しされているので、10月頃に総会を開催する予定ですが、最近卒業された会員の住所録の入手が必要

であります。

「東北支部」

3年間コロナ禍が続いた影響で、支部総会が開催出来ませんでした。
今年は5月27日に岩手県の安比高原にて学校の関係者を招き、総会を開催する事で、すでに会員には案内状を郵送済みであります。

「関東支部」

2022年度の活動については、7月30日に開催する事になっていましたが、コロナ感染の拡大により急遽中止となりました。

今年は7月22日に学校の関係者を招き、総会を開催する予定をしております。

秋には工場見学や東京湾でのアジ釣り大会を企画しております。

「信越支部」

3年間コロナ禍が続いた影響で、支部総会が開催出来ませんでした。
今年は11月頃に開催を予定しております。

「静岡支部」

2020年から3年間は支部総会が開催出来ませんでした。

若い人達の総会への参加を促す為に、今年は何か活動をしていきたいと考えております。

「名古屋支部」

ここ数年支部総会を開催しておらず、学校の様子も随分と変わり、助成金も貯まっておりますので、11月頃に交通費をいくらか負担をして、学校に行く計画を予定しております。

「近畿支部」

近畿支部に於いても、3年間コロナ禍の為支部総会が開催出来ませんでした。

コロナ以前の3年間は、食品関係の工場見学を兼ねて総会を開催しましたが、平日開催の為参加される人が増えなかった。

今年は例年通りの秋に、若い会員の参加を促す企画を考えて開催する予定をしております。

「中国支部」

中国支部はコロナ感染になる少し前から支部総会を開催しております。

助成金も貯まっておりますので、まずは役員改選をして、その後総会を行う段取りをしていきたいと考えております。

「四国支部」

四国支部に於いても、3年間コロナ禍の為支部総会が開催出来ませんで

した。

今回 新年度から支部長が西山から徳島の神原氏に交代した事と、助成金が貯まっており、学校見学を行なうのも一案ではないかと話が出ていますので、総会については6月に幹事会を開いて決めますが、四国の缶詰業界は春先と秋は忙しいので、夏か冬になる予定であります。

「九州支部」

昨年度食事会の計画を立てていましたがコロナ禍の為中止となり、結局3年間は総会は出来ませんでした。

今年は5月21日に幹事会を開き、今年の総会について話し合いをしますが、現時点では9月頃に福岡にて行う予定をしております。

第4号議案 2023年度収支予算書(案)報告の件

齋藤会計幹事より別添資料3に基づき報告、原案通り承認されました。

第5号議案 学生会主催による行事への補助金の件

2013年(平成25年)の役員会で、アピール会が在学生に対して学生間の親睦を深めたり、教養文化に接する活動を支援する目的で、毎年30万円を上限に補助金を出す事を承認して現在に至っておりますが、昨年度のバスツアーの費用が諸般の事情により、大幅に値上げとなり不足分については、学校が負担をしたとの報告を受けました。

今回の討議は、今後も補助金を継続するにあたり、30万円の金額について現状維持か、金額を上げるか等の議論を行った結果、会の運営費の収支バランス等を考えて、現状の金額を補助金として継続する事で了承を得ました。

第6号議案 新校舎建設1期工事完了による会の対応の件

1月の中旬に新年の挨拶を兼ね学校へ訪問した際に、村岡総務部長から本学の将来を見据え、校舎などの建て替え工事が間もなく始まり、第1期工事として図書館を解体した跡地に新校舎建設で、来年8月に完成予定を目指しており、その後寮の建て替え等を含め長期にわたる工事の検討を行っているとの報告を受けました。

それに伴い、1期工事が完了した時点(その後土壌調査の結果問題点が発生した為、完了時期が遅れるとの報告がありました。)で、アピール会として何を行うかで、過去の記念事業の際に会として行なった内容も参考に議論しました。

結果としては、学校については記念植樹を行い、アピール会員は、新校舎のお披露目を兼ねての見学会と総会を行い、その際多くの会員が集まる様に出席者へは旅費の一部を負担する方向で、今後討議していくとなりました。

第7号議案 その他

今回2名の役員の交代があり、本席においてそれぞれ了承を得ました。

斎藤会計幹事・事務局長⇒高谷正信（T-13期生）に交代

西山四国支部長⇒神原良章（T-20期生）に交代

尚 野上相談役から「相談役」辞任の申し入れがありましたが、協議の結果留任となりました。

「2023年度役員」

会長	西山 正一
副会長	富樫 健
同	鈴木 稔
同	松原 清俊
北海道支部長	豊田 勝己
東北支部長	三枝 通晃
関東支部長	渡辺 昇
信越支部長	中村 正和
静岡支部長	石田 雅則
名古屋支部長	岡本 雅志
近畿支部長	長塚 洋二郎
中国支部長	竹内 毅
四国支部長	神原 良章（新任）
九州支部長	原 裕久
会計幹事・事務局長	高谷 正信（新任）
会計監査	本間 欽吾
同	中野 栄介
相談役	野上 健次 （18名）

以上、本日の議案審議全て終了し閉会。

[資料編]

別添資料1 2022年度 アppeール会本部 収支決算報告書

別添資料2 2023年度 支部活動助成金 支払明細書

別添資料3 2023年度 アppeール会本部 収支予算書(案)

資料 1

2022年度 アップール会本部 収支決算書

[自 2022年4月1日 至 2023年3月31日]

単位:円

収 入				支 出			
摘 要	2022年度 予算	2022年度 決算	増 減	摘 要	2022年度 予算	2022年度 決算	増 減
前期繰越金	6,785,320	6,785,320	0	本部役員会開催費	8,000	7,420	△580
第62期生入会金	1,020,000	1,020,000	0	支部活動助成金	245,000	245,220	220
年会費	700,000	679,211	△20,789	支部総会出席役員旅費等	50,000	0	△50,000
預金利息	700	723	23	学生会バスツアー援助金	300,000	300,440	440
				災害援助ボランティア活動費	6,000	5,740	△260
				年会費納入願書等郵送費	130,000	127,390	△2,610
				年会費振込手数料	57,200	54,252	△2,948
				過剰入金による返金	0	18,160	18,160
				卒業式・入学式祝電代等	8,000	3,148	△4,852
				会計・事務処理業務費等	200,000	216,220	16,220
				雑費	5,000	3,838	△1,162
				次期繰越金	7,496,820	7,503,426	6,606
合計	8,506,020	8,485,254	△20,766	合計	8,506,020	8,485,254	△20,766

上記 記載事項について相違ないことを認めます

2023年4月1日

会計監査

本間 欽吾

中野 栄介



資料 2

2023年度 アppeール会支部活動助成金 支払明細書

(2022年度本部会費入金に基づく)

支部名	会員数	会費入金 口数	入金率 %	支部活動助成金		受領印
				単価(円)	助成額(円)	
北海道	22	6	27	700	4,200	
東北	146	65	45	700	45,500	
関東	234	51	22	700	35,700	
信越	41	15	37	700	10,500	
静岡	151	25	17	700	17,500	
名古屋	85	18	21	700	12,600	
近畿	495	80	16	700	56,000	
中国	69	13	19	700	9,100	
四国	119	26	22	700	18,200	
九州	194	37	19	700	25,900	
計	1,556	336	22	700	235,200	

資料 3

2023年度 アップール会本部 収支予算書(案)

[自 2023年4月1日 至 2024年3月31日]

収 入		支 出	
摘 要	金 額(円)	摘 要	金 額(円)
前期繰越金	7,503,426	本部役員会開催費	550,000
第63期生入会金 (@30,000×31名)	930,000	支部活動助成金	235,200
年会費 (@2,000×350口)	700,000	支部総会出席役員旅費等	200,000
預金利息	750	学生会バスツアー援助金	300,000
		災害援助ボランティア活動関係費	6,000
		会費払込取扱票・封筒制作費	185,000
		年会費納入願書等郵送費	130,000
		年会費振込手数料	55,000
		振替振込手数料 35,000	
		自動振込手数料 6,800	
		ゆうちょBizダイレクト利用料 13,200	
		卒業式・入学式祝電代等	8,000
		会計・事務処理業務費等	280,000
		雑費	5,000
		次期繰越金	7,179,976
合 計	9,134,176	合 計	9,134,176